

人 チーム 制度



毎月のコミュニケーション “月例会”

(株) 千代田コンサルタント 東京事業部

(株)千代田コンサルタント 東京事業部では毎月1回「月例会」を各部署で開催しています。仕事の話からプライベートな話まで、役職を超えて語り合うコミュニケーションツールとなっています。

東京事業部の紹介

技術部門：社会システム部

道路部

構造部

主な業務：防災まちづくり計画／都市計画／水工／道路設計／交通／環境／景観デザイン／トンネル／橋梁設計

月例会を開催する目的は何ですか？

弊社の東京事業部には技術部門として、社会システム部、道路部、構造部の3部門があります。部署毎に月に1度、月例会を開催しています。打合せ等の外出や緊急の仕事がある人を除き、ほぼ全員が月例会に参加しています。

月例会を開催する目的は、①技術講習会・業務発表などによる社員教育、②情報共有会議の実施、③社員同士の懇親です。

具体的にはどのようなことをやっているのでしょうか？

「技術講習会・業務発表」では社内教育訓練計画に沿って熟練技術者による講習会を実施したり、若手技術者による業務発表や外部研修報告などを行ったりしています。若手技術者の発表では、発注者との打合せやプロポーザルのヒアリングばりの厳しい質問がと飛んでくるため「プレゼンテーション能力の向上」の一つにもつながります。



「情報共有会議」では、部内で生じる問題や課題を若手社員が中心になって抽出し、部員皆で解決策を話し合い、その方策を実践する取り組みを行っています。若手社員が主体となることで、組織の活力が向上していくことが実感されます。

真面目な時間のあとは社員同士の懇親を図るための「飲みニケーション」の始まりです！社員同士が役職にとらわれず良好な人間関係を構築する場、先輩のこれまでの経験や仕事に対する取り組み姿勢などを学んでいく場でもあります。

軽食とお酒を少々嗜みながら、1時間程度、ざくばらんに語り合います。

各課持ち回りで会場を準備します。たまに、手料理が出てくることも！料理が得意な男性社員が多く、煮物・煮魚・ちゃんこ鍋など主婦顔負けです・・・また、出張先で仕入れたご当地食材・地酒などがずらりとテーブルを埋め尽くすこともしばしばです。



(上司への質問) 月例会では部下とどのような話をしていますか？

管理職Aさん：仕事以外の話で盛り上がることは結構多いです。例えば、テニスの錦織選手の試合や野球、サッカーなどの国際試合があった次の日などはその試合を振り返ってお互いの評論を交わし、上司・先輩・後輩を越えて話が盛り上がります。そうした中でも、一流プレイヤーのプロの意識と技術者のプロ意識を重ね合わせて話たりしますよ。

管理職Bさん：課が違う若手の人達と話をすることが楽しいです。課が違うとお話しする機会が少なくなってしまうのですが、例えば、仕事で失敗をした話を聞くと勇気づけてあげたりすることもありますね。若手は、私が直属の上司ではないため、すごくリラックスをして話をしてくれているようです。

(若手社員への質問) 月例会での“飲みニケーション”について、どのように感じていますか？また、上司とどんな話をしますか？

若手社員Aさん：月例会終了後に、2次会に行こうと誘われることが多々あります。正直、面倒だなと思ってしまったりありますが、行ってみると意外に楽しく、上司の人柄をより知ることができます。親しくなることができ、仕事で分からないことがあっても質問しやすくなったように思います。

若手社員Bさん：趣味の話から恋愛相談まで、プライベートなことも話します。